

政治・経済定点観測レポート

ウズベキスタン NOW

【第 25 号:2013 年 2 月－3 月期】

* 本レポートは ROTOBO の協力者である現地専門家の執筆によるものです。内容は執筆者の個人的見解であり、ROTOBO の組織的見解とはいかなる意味でも関係ありません。内容の無断転載、引用は堅くお断りします。

経済概況

ウズベキスタンの 2012 年実績によると、120 種類以上の青果物およびその加工品が国外に輸出され、金額では 7 億 7,060 万ドルとなった

2013 年には、品質の向上、加工度の増加を図り、さらに拡大する計画である。政府は、青果物とその加工品の輸送にかかわる諸問題の解決、国外市場での潜在的消費者掘り起こしにあたっての農業企業、農場および個人農家への支援に取り組む。国家農業委員会のデータによると、2012 年の農産物生産高は 24 兆 3,703 億スムとなり、対前年比 7% の増加となった。

2012 年ウズベキスタンの対アフガニスタン貿易高は、約 10 億 7,400 万ドルであった

このうち輸出は 10 億 7,300 万ドル、輸入は 80 万ドルであった。ウズベキスタンの総貿易高に占めるアフガニスタンの比率は 4.1% であった。ちなみに、2011 年の対アフガニスタン貿易高は、7 億 9,860 万ドル（輸出 7 億 9,770 万ドル、輸入 90 万ドル）、2010 年は 6 億 5,580 万ドル（輸出 6 億 5,560 万ドル、輸入 20 万ドル）であった。ウズベキスタンはアフガニスタンに農産物と食料品を供給しているほか、建設部門でサービスを提供している。

2012 年ウズベキスタンの対ロシア貿易高は前年比 12.6% の増加

ウズベキスタンの 2012 年貿易高全体に占めるロシアの比率は 29% となり、金額は 76 億 2,900 万ドルであった。このうち輸出は 51 億 7,300 万ドル、輸入は 24 億 5,100 万ドルであった。ウズベキスタンの貿易相手国上位 10 位にはそのほか、中国（ウズベキスタンの貿易高全体に占める比率が 12.3%）、カザフスタン（10.2%）、韓国（8.8%）、トルコ（4.6%）、アフガニスタン（4.1%）、ウクライナ（4.1%）、ドイツ（1.9%）、トルクメニスタン（1.7%）およびイラン（1.5%）が入った。

2012 年総投資額は 117 億ドル

ウズベキスタン共和国対外経済関係・投資・貿易省のデータによると、投資全体のうち 22% 強、すなわち 25 億ドル余りが外資による対内投資で、うち 79% は直接投資であった。

ロシアからの送金額でウズベキスタンが CIS 諸国のうち上位 3 位入り

ロシア中央銀行のデータによれば、2012 年のウズベキスタン・ロシア間の送金総額は、2011 年の 45 億 7,500 万ドルから 32.98% 増加の 60 億 8,400 万ドルとなった。このうち 2012 年のロシアからウズベキスタンへの送金総額は、56 億 6,800 万ドルに増加（2011 年は 42 億 6,200 万ドル）、ウズベキスタンからロシアへの送金総額は 2012 年 4 億 1,600 万ドルに増加した（2011 年は 3 億 1,300 万ドル）。CIS 諸国のうちロシアからの送金額で上位 3 位に入ったのはウズベキスタンのほかタジキスタン（39 億 5,200 万ドル）およびウクライナ（29 億 8,200 万ドル）であった。

投資政策

ウズベキスタン政府が中国と共同でジザク州に自由工業経済特区設立を決定

自由工業経済特区の設立は、地域資源を効率的に利用し、工業の発展を図り、同州の輸出増加のため、投資とハイテク・イノベーション技術の誘致を目的として設立される。同特区の設立は、ナヴォイ特区およびアングレン特区に次いで第 3 番目となる。ジザク州は、ウズベキスタンの中央部・タシケントから 200km にある。州総面積は 2 万 km²。州経済は、農業に依存しており、主に綿花、小麦、そのほか飼料作物、メロンやスイカをはじめとするウリ科作物、野菜等が栽培されている。工業部門の主要製品は建設資材であり、プラスチック製品も生産されている。

ウズベキスタン共和国復興開発基金の資本金が 150 億ドルに到達

R. アジモフ第一副首相は、ウズベキスタンが日本の有力企業と共同で取り組む「ウズベキスタン経済戦略部門および（エネルギー・輸送をはじめとする）基盤部門設備更新・近代化プロジェクト」に復興開発基金が日本の JICA（国際協力機構）と協力して協調融資を行う用意がある、との声明を出した。ウズベキスタン復興開発基金は、2006 年 5 月、国家投資プログラムに含まれる最も重要な投資プロジェクトに融資・協調融資を行う目的で、ウズベキスタン大統領令によって設立された。

国営株式会社ウズキミヨサノアトは 2013 年、総額 23 億 6,000 万ドルの 13 の投資プロジェクトを実施する

このうち 3 件は新規プロジェクトで、10 件は 2012 年から持ち越されたものである。2013 年末までに 5 つのプロジェクトが完了する予定である。新しい種類の化学品の生産体制確立に向けた作業を進める中で、直近の 5 年間に傘下各企業によって 28 品目の製品について生産体制が整備された。現在さらに 17 種類の製品について開発および工業生産体制確立の取り組みが進められている。ウズキミヨサノアトはまた、とりわけ、グルジア、モンゴル、アゼルバイジャン、タイ、インド、台湾、フィリピン、ギリシャといった諸国で新市場の開拓に精力的に取り組んでいる。2010 年以降生産するようになった新製品は、2012 年 1 年間で輸出高が倍増した。2012 年の実績では、（同社の

製品輸出高における) 東南アジア諸国向けに輸出される製品の比率が著しく増えた。
(同社の輸出) 全体の伸び率は 2009 年比でプラス 60%であった。

エネルギーセクター

2012 年のウズベキスタンの輸出に占める電力・石油製品の割合が 16.8%増加

この結果、ウズベキスタンの輸出に占める電力・石油製品の割合は 35.3%に達した。
18.5%であった 2011 年と比較すると 16.8%増加したことになる。

ウズベキスタンの石炭消費が倍増

ウズベキスタンの石炭消費は 2020 年までに 2.9 倍増加して年間 240 万 t になると予測されている。石炭の総埋蔵量(原始埋蔵量)および予想資源量は 48 億 3,860 万 t であり、そのうち確認埋蔵量は 18 億 9,700 万 t である。褐炭の埋蔵資源は主に、タシケント州、フェルガナ州、ナヴォイ州およびカラカルパクスタン共和国に賦存している。瀝青炭の埋蔵資源は、共和国の南部地域に当たるスルハンダリヤ州およびカシュカダリヤ州に賦存する。

ナヴォイ自由工業経済特区に合弁企業を設立し、太陽電池パネルの生産に着手へ

国営株式会社ウズベクエネルギーと中国社 Suntech Power Co. は、最新の技術に基づき、プロジェクト文書作成費用を折半した上で、太陽電池パネルを設備能力 100MW の規模で生産する合弁企業をナヴォイ自由工業経済特区に設立することで合意に達した。国営株式会社ウズベクエネルギーには、ウズベキスタン共和国経済省、対外経済関係・投資・貿易省その他利害関係を有する省庁と共同で、2013 年 4 月 1 日に至る前まで合弁企業設立にかかわるビジネスプランおよび必要なプロジェクト・見積文書を作成して内閣の承認を受けるよう要請された。合弁企業は 2013 年 10 月に設備能力 50MW で第 1 段階の生産を開始し、2015 年に設計設備能力(100MW)に到達する予定である。

自動車・輸送セクター

カザフスタンの自動車市場におけるウズベキスタンのシェアが 2013 年 1 月に 9.3%となった

カザフスタン自動車ビジネス協会の資料によると、合弁企業、閉鎖型株式会社 GM Uzbekistan の売り上げが、2012 年 1 月の 176 台から 2013 年 1 月の 816 台に伸びた。これに伴い、カザフスタン自動車市場における同社のシェアが 2012 年 1 月の 4.22%に比べて 2013 年 1 月には 9.21%となった。乗用車セグメントに限れば GM Uzbekistan 社は 10.01%の市場シェアを持っている(2012 年 1 月は 4.75%)。カザフスタン自動車ビジネス協会は、Nexia と Matiz の両モデルがそれぞれ所属する C および A クラスのセグメントで首位を占めた、と指摘している。同協会の予測では、GM Uzbekistan のカザフスタンにおける自動車の売り上げは、2011 年に 3,829 台、2012 年に 7,793 台であっ

たが、2013 年には 1 万 2,611 台になるという。

ウズベキスタン鉄道が、2013 年にアフガニスタン西部でマザーリシャリーフとアンドフボイを結ぶ 230km の新規鉄道区間の敷設に着手することを計画

2012 年 10 月末に中国の武漢で開催された中央アジア地域経済協力 (CAREC) プログラム参加 10 カ国の会合で承認された行動計画によると、この区間は、Shirkhan Bandar - クンドゥーズ - ホルム - ナイババド - アンドフボイ - ヘラートのコースを通り 2015 年までには完工する予定の鉄道計画線の一部である。

その他のセクター

ロシアの公開型株式会社「石油・ガス会社」が、スルハンダリヤ州で設計生産能力 36 万 t /年のセメント工場の建設を 2013 年末までに完工する予定

「石油・ガス会社」は、2008 年に子会社 (有限会社) IP 000 「スルハニンベストツェメント」を設立し、4,700 万ドルの工場建設プロジェクト実施に着手するはずであった。しかし資金調達に問題が発生、プロジェクト実施が延期されていた。同社は 2011 年、Mack Management Service 社 (登記地はスリランカ) と総額 4,670 万ドルの投資協定を締結した。ウズベキスタンでは現在、6 つの工場でセメントが生産されており、それらを合わせた総設備能力はおよそ 700 万 t である。

国営株式会社ウズファルムプロムが、総費用 2,680 万ドルとなる 3 つの製薬企業をタシケント州に建設することで中国の複数社と協定を締結

なかでも、Huaian Rich International 社は、設備能力 50 万デカリットル /年の規模で医療用無水エチルアルコールを生産する工場を設立するほか、設備能力 5,080 万個 /年の規模で医療用小瓶の密栓を生産する体制を整備する。投資額は 1,280 万ドルになる。Kunmin Pharmaceutical 社は、設備能力が 200 万服用回数分の規模で気管支・肺疾患治療用製薬を生産する工場を建設する。投資額は 1,400 万ドル。3 つの製薬企業はいずれもアンダク自由工業経済特区に置かれる。

ウズベキスタンが今後、段階的に 30 の金鉱床の開発に着手へ

ウズベキスタンの 2012 年の金生産量は 90 t、2011 年は 91 t であった。2012 年は金の産出量で世界第 9 位を占めた。ナヴォイ採鉱製錬コンビナート、アルマリク採鉱製錬コンビナートおよびウズベキスタン・英国合弁「アマンタイタウ・ゴールドフィールズ」が金を生産している。アマンタイタウ・ゴールドフィールズ者は最近、破産宣告を受けた。

ウズベキスタン政府がアラブ首長国連邦の International Petroleum Investment Co (IPIC) 社との間で締結されたナヴォイ州における化学プラント建設協定の破棄へ

双方が協定で定めた目標に到達できなかったため、協定文書破棄手続きに入るとの決定がなされた。2010年2月、ウズベキスタン政府と IPIC は、暫定的に定められたプロジェクトの規模に基づいて投資を募ることにし、これについて双方の義務を定めた投資協定に署名した。協定に基づいて IPIC は、プロジェクト・ファイナンス条件でプロジェクトに要する資金の借入金部分を調達するために、外国銀行・金融機関にコンソーシアム結成を働きかけて実現する義務、さらに生産される製品の 70%以上を国際価格で輸出できる環境を整える義務を負った。費用が見積りで 13 億ドルとなるこのプロジェクトでは、年間 90 万 t のアンモニアと 100 万 t の尿素を生産するプラントを建設することになっていた。